

## 第9回黒島小中学校検討委員会議事録

1 日 時 平成29年9月6日（水） 19:00～20:30

2 場 所 黒島小・中学校 校長室

3 参加者 濱田・牧野・大村・古里・松崎・田代・山内・惣田・高田・木下  
山崎・戸田 計12名（欠席：鶴崎） ※敬称略

### 4 校長挨拶

○小値賀島の離島留学、行政も一緒になって取り組んでいる。黒島の参考になればと考えている。

### 5 協議事項

#### (1) 新校章について

- プロのデザイナーである竹原さんに依頼をしている。
- 謝金ではなく、データ化することでお金を捻出するよう市教委に依頼している。
- 修正された3つの案から一つこの委員会で選ぶ。

#### (2) 新校名の投票に係る選出について

- 新校名が決定した。校名の発案者から1名と、投票者から1名の抽選を行い、お礼を渡すこととしていた。その抽選を実施した。

#### (3) 新校舎の門柱について

- 市教委総務課から提供された図面を見ながら説明。（門柱ではなく、門扉である）
- 市教委総務課担当によれば、御影石の石柱を入れて扉をつけるのは難しいとのことだった。
- 確かに構造的に難しいことが予想される。
- もう一つの案としては、体育館の南側に通用口があることが予想される。もし、可能であれば、ここに設置する。
- 校内の奥では、もしTAKAHIROに校名を揮毫してもらった場合、観光客が入ってきて、安全管理上望ましくないため。門柱は観光客が入ってこない表側に設置する。
- 御影石を門扉の外側に入れるといいのではないか。外側なら門扉の開閉のために門柱は加工しなくてよい。
- ただし、新しい門扉と調和がとれないのではないか。
- 起草者の名前があるから門柱は廃棄するのではなく残したい。
- 第1希望、門扉の外側に、門柱をそれぞれ入れる。裏からも見ることができるようにする。第2希望、体育館南側に通用口があるなら、体育館入るところ（通用口）に置く。

#### (4) 愛称名

- あくまで情報提供。小佐々小・楠栖小・小佐々中3つでひとつの海光る町学園となっている。
- 投票したときは、2番目に多かったのは、黒島はまゆう学園。
- 前々回のこの話合いのとき、黒島をとって、愛称名は「はまゆう学園」とした。しかし、松浦にはまゆう園があったり、市立図書館の移動図書館は、はまゆう号があったりする。やはり黒島という地域名は入れた方がいいのではないか。
- 愛称名は「黒島はまゆう学園」とする。
- その理由としては、愛称名の必要性がある。市中体連のとき困る。
- 履歴書には、正式名称を記入する。卒業証書等にも正式名称となる。
- 門柱も、起草者が書いてある方の表面が削ってあるのに何も書いていない方に正式名称を書く。もう片方に黒島中学校と彫ってある方の裏を削って愛称名を削って入れるというのがいいのではないか。
- 門扉の銘板は、正式名称を書く。
- 名札については、子どもへの意識づけとして、愛称名がよい。
- 校旗は、正式名称を入れる。
- 使い分けが課題であるが、愛称名の説明を子どもたちができることが大切。なぜハマユウをいれたのかを子供に教えてほしい。そして子どもたちが説明できるようにしてほしい。
- ジャージや体操服についてどうするか。ちなみに祇園中学校はローマ字で GION と入れている。他の学校も様々。
- 現在、小中学校で体操服が少し違う。
- 正式名称と愛称名が決まったので、ジャージのどこに入れるか検討する。
- ジャージには地名の「黒島」と、愛称である「はまゆう」をいれる。

#### (5) 第8回あり方検討委員会の議事録確認

(6) あり方検討委員会便り第10号について確認。

#### (7) そのほか

- 運動会に教育委員会から2名参加していただけることとなった。西本教育長と中原教育次長。二名とも前日宿泊。教育長は運動会当日10時すぎに戻り中原次長は15時30分で戻る予定。
- そこで、運動会前日に懇親会を会費制で実施できれば。
- メンバーは、このあり方検討委員会の方で希望をされる方とする。
- 参加をよろしく願います。

#### 6 閉会挨拶

- 様々な協議事項は、予算取りとの関係から早め早めに決めていきたい。

以 上